

あま市民病院だより

～代表的な眼の病気について～

令和7年2月より、あま市民病院眼科に常勤医師として着任いたしました。

2年ほど前から非常勤医師として勤務しておりましたので、以前から通院されている方々の診察も引き続き担当させていただいております。

あま市民病院では、平日の午前は外来診療を行い、午後は予約制で手術、処置、視野検査などを行っています。外来には緑内障、白内障、糖尿病網膜症、ドライアイの患者さんが多くいらっしゃいます。今回は、代表的な眼の病気3つについて紹介します。

- ① 緑内障は日本の中途失明原因の第一位です。徐々に視野がかけていく病気ですが、初期に自分で気づくことは困難です。早期発見のために、定期的に眼科でチェックを受けることや健康診断で眼底検査を追加することが大切です。
- ② 白内障には、ぼやける、まぶしい、ものがふたつに見えるなどの症状があります。加齢により少しずつ進行する方が多いですが、人によって進行の程度や症状も異なるため、気になる症状があれば眼科で診察を受けてください。白内障は手術でしか治らない病気です。主治医と相談し必要であれば手術を受けます。
- ③ 糖尿病網膜症は、糖尿病の合併症の一つで目の奥の網膜に障害がおこる病気です。内科で血糖の異常を指摘された方は、まず網膜の検査を受けることが必要です。網膜の血管が詰まることで出血を引き起こすこともあれば、網膜が浮腫を起こして視力低下を起こすこともあります。進行しても無症状である方も多いため、必ず定期的に眼科通院をして必要であれば治療を受けましょう。

人間が得られる情報の80%以上は視覚からと言われています。早期発見、早期治療を心がけていくことが大切です。気になる症状がある場合は、診察、検査をおすすめします。



あま市民病院 眼科 加地 郁子

公益社団法人
MED 地域医療振興協会あま市民病院
Japan Association for Development of Community Medicine 〒490-1111 あま市甚目寺畦田1番地
～市民と連携機関に信頼され、健康と安心を提供する病院～
掲載に関するお問い合わせ：8:30～17:00（土日祝日を除く）
☎ 052-444-0050 📠 052-444-0064

随時情報更新しています
ぜひお手元のスマートフォンのカメラ機能で読み込んでご覧ください



あま市民病院
公式ホームページ



あま市民病院
公式Facebook